

はじめに

九州地区大学体育連合 理事長 亀丸 政 弘

九州地区大学体育連合の機関誌「体育・スポーツ教育研究」第4巻第1号をお届けします。

本号では平成15年3月23、24日の両日、九州大学国際研究交流プラザで開催された平成14年度の春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」で発表されたものを中心に、体育・スポーツ事情、事務局報告等を掲載しております。

さて、全国大学体育連合は、昭和48年に大学保健体育の調査研究とその普及活動を図り、また大学相互の連絡と協力体制の確立を趣旨として大学体育協議会を母体に発足しております。体育必修制への批判が相次ぐ中、大学体育の意義と価値を理論的にアピールし、大学教育において然るべき位置の確保を目指して結成されたのが、本連合であると理解しています。当時の中教審、私大連盟、大学基準協会等の答申や意見は、新制大学発足以来の必修制に否定的見解や多くの疑問をなげかけていたようです。

度重なる大学改革の波は、最終的には平成3年の大学設置基準の緩和にみられるように、大学体育は制度的には必修から除外されるに至りました。各大学が独自に必修制か選択制にするか、また何単位を卒業要件と定めるか等も含めて主体的に決定できる制度に変革されたのです。

設置基準が緩和された今こそ、時代的要請として大学体育人自らがカリキュラムを初め、授業の内容、方法等について創意、工夫することがこれまで以上に要求されていると思います。一方、体育連合設立の趣旨からみても、研修会の開催と機関誌「体育・スポーツ教育研究」の発刊は組織機能の中核となる不可欠な二大イベントであるといえます。社会の変化や学生のニーズに大学体育がいかに対応していくか、研究と教育の融合化による魅力ある授業の展開、生涯スポーツや地域貢献を見通した体育授業はいかにあるべきか等、解決すべき課題は多々あるように思われます。

平成15年3月の研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」における大会テーマ「魅力ある授業づくり－教育と研究の融合化－」は過去3ヶ年のまとめとしてシンポジウムでも取り上げられました。その他、一般発表として5題、ワークショップ等、締めくくりの年にふさわしい企画であったと思います。発表者と発言者、また出席された方々に対し深くお礼を申し上げます。一般発表は5題、テーマは以下のとおりでした。

- ① 地域住民、学生、教員の地域共生を目的としたフィットネス教室の開催
- ② マリン（シーカヤック）実習の実施とその効果について
- ③ 卓球授業の一実践：スポーツ文化の主体的な継承のための構想力を得ることを目指して
- ④ 地域スポーツ振興に果たす大学の役割－大学スポーツの地域貢献－
- ⑤ 学生参画型授業の事例－授業研究の立場から－

なお、ワークショップのテーマは「コミュニケーションワークの体育科目への応用について」、シンポジウムでの発表は下記の2題で問題提起者との自由討議方式でした。

- ① 「魅力ある授業づくり」とその<知>のリアリティをめぐって
- ② 魅力ある授業－講義によって行動変容を促すのは可能か－

平成15年度の春期研修会は、平成16年3月22（月）、23（火）の両日、「今、大学体育に求められるもの～魅力ある授業づくりと地域への貢献～」をテーマに鹿児島県桜島の国民宿舎「レインボー桜島」で開催される予定です。皆さんの積極的な参加と御協力を期待し、ここにご案内申し上げます。

最後に、今年は全国体育連合結成50周年を迎える記念すべき年です。これからの新たな出発にあたり、大学体育がなお一層、充実、発展していくことを祈念致します。

平成15年9月

目 次

はじめに	亀丸 政弘 (理事長)	1
------------	-------------	---

I. 教育研究論文

1. 原著論文	スポーツを通じた大学の地域貢献プログラムの開発 「教員」「学生」「地域住民」のネットワークシステムの構築	富山 浩三 (北九州市立大学)	5
2. 事例報告	地域住民・学生・教員の地域共生を目的としたフィットネス教室の開催	村木 里志 (九州芸術工科大学. 現, 九州大学大学院芸術工学研究院) 椎葉 浩亮 (熊本託麻台病院), 田村 桂子 (宮崎善仁会病院) 西尾 和子 (名古屋大学大学院医学系研究科)	12
3. 事例報告	マリン (シーカヤック) 実習が参加学生の心理面と授業評価に及ぼす効果について	西村 千尋, 下園 博信 (長崎県立大学)	18

II. 体育・スポーツ教育

1. 提言	「地域共生学習塾」の試み	松永 恵子 (県立長崎シーボルト大学)	25
2. ワークショップ	「コミュニケーション・ワークの体育科目への応用についてーコミュニケーションはキャッチボールー」	佐藤 靖典 (福岡県レクリエーション協会専務理事)	26
3. シンポジウム	「魅力ある授業づくりー教育と研究の融合化ー」		
1)	「魅力ある授業づくり」とその〈知〉のリアリティをめぐって	根上 優 (宮崎大学)	28
2)	わが国の大学教育の現状と授業改善	橋本 公雄 (九州大学健康科学センター)	33
3)	シンポジウムを振り返る	飯干 明 (鹿児島大学)	37
4. 体育・スポーツ教育研究発表			
1)	卓球授業の一実践 ースポーツ文化の主體的な継承のための構想力を得ることを目指してー	秋元 忍 (九州大学)	39
2)	学生参画型授業の事例ー授業研究の立場からー	森 正明 (中央大学)	41

Ⅲ. 体育・スポーツ事情

1. 海外だより－UCLAの体育・スポーツ事情－

.....井上 勝子（熊本学園大学） 45

2. 大学めぐり－九州保健福祉大学－

.....柿山 哲治（九州保健福祉大学） 48

3. 九州地区大学体育連合研修会

1) 「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」春期研修会の概要 50

2) 九州地区大学体育連合春期研修会に参加して

.....柿山 哲治（九州保健福祉大学） 51

3) 春期研修会を終えて

.....磯貝 浩久（九州工業大学） 53

Ⅳ. 事務局報告

平成14年度九州地区大学体育連合事業報告 55

平成14年度決算 59

平成15年度予算 60

平成15年度事業計画 61

九州地区大学体育連合規約 62

平成14年度九州地区大学体育連合役員名簿 63

平成15年度九州地区大学体育連合役員名簿 64

平成14年度加盟大学および個人 65

平成14年度賛助会員一覧 67

平成15年度賛助会員一覧 67

編集後記